

委 員 会 行 政 調 査 報 告 書

令和8年8月3日

尾張旭市議会議長 殿

総務委員会

委員長 日比野 和 雄

本委員会は所管事務調査のため下記のとおり行政調査を行いましたので、報告します。

期 日 等	期 日	調 査 先
	令和8年7月23日	静岡県富士宮市
	令和8年7月24日	千葉県鎌ケ谷市
参 加 者	計 <u>7</u> 名	
	日比野和雄、川村つよし、市原誠二、片渕卓三	
	さかえ章演、早川八郎、安田吉宏	
調 査 項 目 及 び 内 容	1 静岡県富士宮市	
	シティセールスの取組について	
	2 千葉県鎌ケ谷市	
	プロ野球チームの2軍施設があることによるメリット・デメ	
	ットについて	
	(行政調査の成果等は別紙にて報告)	
そ の 他		

富士宮市行政調査報告書

令和8年7月23日に静岡県富士宮市を訪問し、「シティセールスの取組について」行政調査を行いました。

1. ふるさと納税を活用したシティセールスの考え方

- ふるさと納税をきっかけに、関係人口を増やすことが狙い。
- ふるさと納税は、富士宮市とのつながりを作るための入り口であり、ステップの1段階目。ステップの2段階目では、交流人口を関係人口に育てるための施策を行っている。
- これまでの移住者獲得の考え方から、住まなくても地域を支える人を増やす考え方へ。
- 関係人口が増えることで、「人手不足の解消」「稼ぐ力の向上」「地域が面白くなる」といったことが期待できる。
- ふるさと納税が増加したからと言って、関係人口が増加するわけではない。ふるさと納税では、多くの方が自治体ではなく返礼品を見て納税先を決めている。

2. ふるさと納税を活用した取組

- 寄附金受領書に特産品や観光スポットなど市のPRを掲載している。年間で約14万件送付している。
- 返礼品を発送する際、ローカル冊子を同封している。このローカル冊子は、市内の子どもが、自分たちの住む地域の魅力を考え、取材し、記事にしたもの。
- 実際に返礼品のお菓子を食べることができるスイーツイベントを開催した際は、そこで出た意見から、新製品の開発につながった。
- そのほか、SNSを活用したPRなど、さまざまな取組を進めている。

3. その他

- 「富士宮市 関係人口プロジェクト」では、「富士宮市ともうひとつのつながりを。」をポイントに、世界遺産・富士山の麓に広がる豊かな自然と、地域に受け継がれてきた文化や人のつながりを大切にしてきた。
- 人口減少や少子化高齢化が進む中で、地域の未来を支えていくためには、住んでいる人だけでなく、地域を想い、応援してくれる人たちとのつながりが益々大切になっている。
- 「住む」「観光する」だけではなく、新しい地域と関わる人を増やすための取組がポイントとなっている。
- 関係人口の増加が移住・定住にダイレクトにつながるわけではない。この取組は、あくまで市外に住みながら富士宮市に関わってくれる人を増やすことを目的としている。

4. 行政調査を終えて

本来、ふるさと納税は、納税者は自分が応援したい自治体に寄附をし、自治体は寄附を基に、地域の活性化を図ることが目的です。しかしながら、実際は、返礼品から寄附先を探す方が多いと思われます。

本市の場合、富士宮市ほどポテンシャルの高い、有名な地域資源が豊富にあるわけではないことから、魅力ある返礼品をすぐに増やすことは難しいですが、富士宮市が取り組んでいる、ふるさと納税をきっかけとしたつながりの構築については、大いに参考となる部分がありました。

移住・定住人口の増加、交流人口の増加はよく言われていますが、関係人口の増加は、いままでにあまりなかった視点だと思います。

本市との関わりを一過性のものとするのではなく、引き続き本市に興味を持ってもらうことで、本市の活性化につながると考えます。

鎌ヶ谷市行政調査報告書

令和8年7月24日に千葉県鎌ヶ谷市を訪問し、「プロ野球チームの2軍施設があることによるメリット・デメリットについて」行政調査を行いました。

1. 誘致までの経緯

- 生涯スポーツ都市宣言（平成3年10月12日）を踏まえ、市民の健康で明るい市民生活の確保、地域活性化及び魅力づくりの推進を図ることで市政の発展に寄与することを目的として、奨励措置を設けた民間スポーツ施設を積極的に誘致する鎌ヶ谷市スポーツ施設誘致条例を制定（平成5年8月）した。
- こうした中、球場、宿泊所の候補地を探していた日本ハムファイターズから、平成6年3月、奨励施設の指定申請があり、市の誘致委員会での審議を経て、初めて、奨励施設として指定された。
- 平成9年に日本ハムファイターズ鎌ヶ谷スタジアムがオープンした。

2. 支援内容

- 移転に当たり、建設助成金5億円、施設奨励金として約4億円の合計約9億円を支援した。
- 建設助成金は建設に当たる助成金で、2か年に分けて交付。施設奨励金は、特別土地保有税と固定資産税の相当額を5年間にわたり、奨励金として交付した。
- 土地と建物は全て球団が所有している。

3. 経済波及効果

- 具体的な数値は分からないが、観客が来ることによる市内への経済や雇用への効果はあった。また、移転に当たり約9億円の支援を行ったが、税収だけでもその数倍の増収があったと思う。

4. 地域との交流等

- スポーツ振興として、野球教室、トレーニングデーの開催、モルックの

体験などを実施。基本的には、オフシーズンに開催している。

- 教育分野では、小学生の社会科見学、日本ハムファイターズ×小学校連携事業の開催などを実施
- このほか、食の講演会、ランドセルカバー贈呈など、さまざまな連携事業を実施

5. その他

- 新入団選手の歓迎式典を行う際は、多くの来場者があり、また、テレビなどでも様子が放映される。テレビでは、何度も「鎌ヶ谷」の名前が出るため、非常に大きなPRとなっている。百億円規模の宣伝効果があったという話も聞いた。
- 鎌ヶ谷市に移転した当時は、球場と宿泊所だけでよかったが、近年は、ボールパーク化が進んでいる。日本ハムファイターズの2軍施設が恵庭市に移転するが、ボールパークにすると聞いている。昔と比べ、自治体の財政的な負担はかなり大きくなると思う。
- 鎌ヶ谷市の場合夜間照明はなくデイゲームのみ。鳴り物禁止としている。

6. 行政調査を終えて

今回の調査目的のプロ野球チームの2軍施設があることで、さまざまな分野でメリットが生じることが分かりました。特に、有名選手の輩出は望外の出来事であり、全国的な宣伝効果が期待できます。しかしながら、近年、ボールパーク化が進んでいる点を考えると、自治体の財政的な負担が大きな懸念点となります。

ただし、2軍施設があることは、シティプロモーション、スポーツ振興に大きく寄与することを確認できました。